

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 鹿児島大学 |
| 設置者名 | 国立大学法人 鹿児島大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

鹿児島大学では、全学教務委員会において、シラバスの全学的なガイドラインを定め、設けるべき項目、記載すべき内容及び留意事項等を明示している。当該全学的なガイドラインに従って、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を全学部において作成している。

公表時期については、学生が履修登録の際に授業科目の選択に資するよう当該年度が開始される前にはホームページ上に掲載している。

全学的ガイドライン

○授業計画(シラバス)作成のガイドライン

1. 編集言語の選択
- 日本語・英語を編集 …日本語項目及び英語項目を入力してください。
 - 日本語のみ編集 …英語項目に日本語の項目が転記(上書き)されます。
 - 英語のみ編集 …日本語項目に英語の項目が転記(上書き)されます。

編集項目は、シラバス入力画面の項目順に並んでいます。

| 編集項目 | 入力区分 | 留意事項など |
|--|------|---|
| 前年度 Academic Year | 必須 | 運用管理者により設定済みです。 |
| 学期 Semester/course available | 必須 | プルダウンから選択すること。【前期、後期、通年…第4ターム】 |
| 学年 Year | 必須 | プルダウンから選択すること。【1年、2年…6年】 |
| 曜日 Weekday | 必須 | チェックボックスから選択すること。【月、火…集中、不定、その他】 |
| 時間 Period | 必須 | チェックボックスから選択すること。【1限、2限…集中、不定】 |
| 履修期 Year/Semester/Term | 任意 | プルダウンから選択すること。【1期、2期…12期など】又は直接編集(自由記述)も可能です。【1期～2期等】 |
| シラバスコード Course Code | 任意 | |
| 科目名 Course Title | 必須 | 授業科目名(日本語表記・英語表記)を入力すること。 |
| 開設部署 Issuing/Offering Course | 必須 | プルダウンから選択すること。【共通教育センター、○○学部、○○研究科】 |
| 科目区分 Category/Compulsory | 必須 | プルダウンから選択すること。【必修、選択必修、選択、自由、敬愛、その他、要件外】 |
| 授業形態 Type of Class | 必須 | プルダウンから選択すること。【講義、実験、実習、演習、実技、講義と演習、講義と実習、その他】 |
| 対面/遠隔 Face-to-face / remote | 必須 | プルダウンから選択すること。【対面授業、遠隔授業、対面および遠隔授業(対面90%以上)、対面および遠隔授業(対面50%未満)】 |
| 授業方法 Teaching Method | 任意 | 該当する場合、プルダウンから選択すること。【アクティブラーニング、アクティブラーニング(グループワーク)など】 |
| 授業回数 Scheduled Class | 必須 | プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【15回、8回…不定、その他】 |
| 単位数 Credits | 必須 | プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【1単位、2単位…等】 |
| 担当教員 Instructor | 必須 | 担当教員氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。 |
| 共同担当教員 Instructor | 任意 | 副担当教員氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。 |
| 連絡先(TEL) Contact(TEL) | 任意 | |
| 連絡先(MAIL) Contact(MAIL) | 任意 | |
| 授業概要(目的・内容・方法) Course Outline | 必須 | 学習目標にどのように繋がるのかを念頭に置いて、授業の目的・内容・方法等(日本語表記・英語表記)を入力すること。授業形態(講義、演習、実験、実習等の組合せ・バリエーション)、学習指導法(少人数授業、対談・討論型授業、多様なメディアの活用、能力別授業の活用等)の工夫を積極的に記述し、その状況についても入力すること。 |
| 学習目標 Course Learning goals | 必須 | 授業を受けることにより、どのような知識・能力が身につくのか、具体的内容(日本語表記・英語表記)を入力すること。 |
| 授業計画 Details for Individual Classes | 必須 | 各回(同じ単位数が複数回ある場合、数字などを記載)の内容(日本語表記・英語表記)を入力すること。 |
| 履修学修に必要な学修時間の目安 Estimated out-of-class study time | 必須 | プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【本科目は、80時間の学修が必要で必要内容で構成されている。授業は30時間分(2h×15コマ)となるため、80時間分相当の学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。等】 |
| 教科書 Textbook | 必須 | 教科書名(日本語表記・英語表記)を権力具体的に記入すること。 |
| 参考文献 Reading List | 任意 | 参考文献名(日本語表記・英語表記)を権力具体的に記入すること。 |
| 成績評価方法・評価基準 Assessment Methods and Criteria | 必須 | 出点は記載しない。できる限り複数の評価方法(各割合の数値化を推奨)を用いて、総合的に評価する基準(日本語表記・英語表記)を入力し、トータルで100%となるよう入力すること。 |
| 履修条件 Enrollment Conditions | 必須 | 履修条件(日本語表記・英語表記)を入力すること。条件がない場合は、「特になし」と入力すること。 |
| オフィスアワー Office Hours | 任意 | |
| 担当教員への連絡方法 Contact Information | 任意 | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 Course Based on Practical Work Experience | 必須 | 授業担当者の実務経験及び実務経験などにより行われて授業を行うか(日本語表記・英語表記)を入力すること。学外者による授業やインターンシップ・実習を中心とした授業の場合はその内容を入力すること。該当しない場合は「該当なし」を選択すること。 |
| SDGs Sustainable Development Goals | 必須 | チェックボックスから次の18の選択肢のうち該当する項目を選択(複数可)すること。①環境をなごそう ②気候変動をゼロにするすべての人に健康と福祉を ③質の高い教育をみんなに ④ジェンダー平等を実現しよう ⑤気候変動に一致している持続可能な産業と技術革新の基盤をつくろう ⑥人や国の不平等をなくそう ⑦住み続けられるまちづくりを ⑧責任つなぐ責任 ⑨気候変動に具体的な対策を ⑩海の豊かさを守ろう ⑪陸の豊かさを守ろう ⑫持続可能な消費と生産 ⑬気候変動に一致している持続可能な産業と技術革新の基盤をつくろう ⑭環境をなごそう ⑮気候変動をゼロにするすべての人に健康と福祉を ⑯質の高い教育をみんなに ⑰ジェンダー平等を実現しよう ⑱気候変動に一致している持続可能な産業と技術革新の基盤をつくろう ⑲人や国の不平等をなくそう ⑳住み続けられるまちづくりを ㉑責任つなぐ責任 ㉒気候変動に具体的な対策を ㉓海の豊かさを守ろう ㉔陸の豊かさを守ろう ㉕持続可能な消費と生産 ㉖気候変動に一致している持続可能な産業と技術革新の基盤をつくろう |

★各学部でシラバス記載状況のチェックを行う体制を整備する。

授業計画書の公表方法

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/post-250.html>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

鹿児島大学では、鹿児島大学学則第42条の2第2項で「各学部等は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」と規定し、さらに、各学部規則にも同様に規定し、各授業科目のシラバスにおいて、具体的に成績の評価基準を明示して、それに基づいて、厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。

また、令和2年度に全学の成績評価に関するガイドラインを策定し、令和3年度以降当該ガイドラインに基づき厳格かつ客観的な成績評価を行っている。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

全学的にG P Aを取り入れている。共通教育科目等においては、G P A制度による成績評価を行っている。それに基づいて、半期に1回、全学を対象に優秀な学生には表彰を、またG P Aが低い学生には低学年時の早期から助言や指導をおこなっている。

G P A値は次の式で算出している。

| 項目 | 学習達成度 | 評語 | GPの値 |
|-----------------------------------|--|----|------|
| 成績評価及び評語 | 90%以上 | A | 4点 |
| | 80%以上90%未満 | B | 3点 |
| | 70%以上80%未満 | C | 2点 |
| | 60%以上70%未満 | D | 1点 |
| | 60%未満 | F | 0点 |
| 単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価 | 認定 | P | |
| GPAの算出方法 | $(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算})\text{GPA} = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) n_A, n_B, n_C, n_D, n_F は、それぞれ当該期間に履修した科目のA、B、C、D、Fに対応する総単位数とする。 | | |

また、全学の学部生の授業料免除対象者の学力基準の一つとして、学業成績指標を用いて判定している。(学業成績指標が2.0以上の者)

学業成績指標 = (秀(A)・優(B)の単位数 × 3点 + 良(C)の単位数 × 2点 + 可(D)の単位数 × 1点) ÷ 合計修得単位数

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/educenter/gpa.html>
https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/2023_menjo_gakuryoku.pdf

| | |
|--|---|
| 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) | |
| <p>鹿児島大学では、全学（鹿児島大学）の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めて公表している。さらに、各学部においても、この全学の方針に沿って、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、また、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）も併せて公表している。</p> <p>卒業の認定の際には、これらの方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に卒業を認定している。</p> | |
| 卒業の認定に関する 方針の公表方法 | https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/eoplcmnm.html |